

記入例

令和4年7月5日

長野県知事様

通信制高校サポート校等就学支援事業補助金交付申請及び実績報告兼口座振込依頼書

私は、通信制高校サポート校等就学支援事業補助金の交付を受けたいので申請します。

ふりがな	ながの いちろう		利用者との関係 *右欄の該当するものに○等をする。	親権者・未成年後見人・未成年後見人である里親・主たる生計維持者・本人・その他()		
申請者氏名 (保護者等氏名)	長野 一郎					
申請者住所 (現住所)	〒380-8570 長野市大字南					
振込先 口座	金融機関名	支店名	預金種別	口座番号	口座名義 (漢字)	ナガノ イチロウ 長野 一郎
	〇〇銀行	〇〇支店				
	金融機関コード	支店コード	普通	012345	連絡先電話番号 (日中に連絡が取れる電話番号)	090-1234-5678
	1234	567				

誤りのないよう、通帳に記載のとおり
に正しく記入してください

申請者本人名義の口座
であること

*申請書住所(現住所)と課税証明書の住所が違う場合は、住所変更の履歴がわかる書類を提出してください。
 *口座は申請者(未成年後見人等のある保護者等)の普通預金口座名義に限ります。
 *当該補助金の受取口座が変更の場合は委任状(様式第2号)を提出してください。
 *確認のため通帳の写し(口座名、口座番号、口座名義(カナ)が記載されている部分)を添付してください。

通帳の写しに記載がなく
コードが不明の場合は空欄
で構いません

【1 対象となる利用者について】

ふりがな	ながの はなこ	生年月日	平成17年7月1日
利用者氏名	長野 花子		
施設名	〇〇高等学校 〇〇キャンパス	利用開始年月日	令和3年4月1日
所在地	松本市中央1-2-3 ABビル2F		

正式名称を記入し
てください

入学式の日付ではないので注
意。不明な場合はサポート校に
確認してください

【2 扶養親族等の状況について】

世帯員の 状況	利用者との続柄	氏名	生年月日	職業・学校名(課程・学年)	備考
	父	長野 一郎	昭和51年4月5日	会社員	
	母	長野 正子	昭和55年12月10日	パート	
	弟	長野 二郎	平成20年9月27日	〇〇小学校6年生	
			年 月 日		

申請者、利用者を含めた家族全
員の状況を記載してください

この欄に父母2人の記載があ
る場合、所得証明書も2人分
必要となります

【3 保護者等の収入の状況について】

提出する証明書で該当するものの□にレ印を

①	<input checked="" type="checkbox"/>	親権者（両親）2名分	2人分の提出の場合は表面にも2人分の氏名等の記載が必要です
②	<input type="checkbox"/>	親権者1名分 （親権者が、一時的に親権を行う者（長である場合は、その者を除く） （1）離婚、死別等により親権者が1名の場合 （2）親権者が存在するものの、家庭の事情によりやむを得ず、親権者の1人の課税証明書を提出できない場合 等	
③	<input type="checkbox"/>	未成年後見人（ ）名分 （1）親権者が存在せず、未成年後見人が選任されている場合（未成年後見人が複数選任されている場合は、全員分） ※未成年後見人が法人である場合又は財産に関する権限のみを行使すべきこととされている者である場合は、その者を除く	
④	<input type="checkbox"/>	利用者の生計をその収入により維持している者（主たる生計維持者）1名分 （1）親権者又は未成年後見人が存在しない場合 （2）成人に達しているが主たる生計維持者が存在する場合 等	
⑤	<input type="checkbox"/>	利用者本人 （1）親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合であり、成人に達している場合 等	

次の理由により、課税証明書等を提出しません。

<input type="checkbox"/>	○所得確認の対象が利用者本人（親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合）であるが、未成年で道府県民税所得割及び市町村民税所得割を課されるだけの収入を得ていない場合
--------------------------	---

領収書等のほか、サポート校が発行する入金証明書でも構いません

【4 利用料の支払い証明について】

<input checked="" type="checkbox"/>	○申請日現在、サポート校等に対して納付済（R4年4月10日） ・納付したことがわかる書類を添付	受領委任される場合は、表面にご本人口座の記入ください 通帳の写し等は必要ありません
<input type="checkbox"/>	○申請日現在、サポート校等から利用料を徴収猶予中であるため、補助金の受領を委任する ・「通信制高校サポート校等就学支援事業補助金口座振込依頼書兼委任状（様式第2号）」	

【5 特別な事情により翌年度において非課税相当となることが見込まれる者】

<input type="checkbox"/>	○離職等の理由により、所得が激減し、翌年度において道府県民税所得割及び市町村民税所得割を課されないことが見込まれる場合は、その状況がわかる書類（勤務先の証明等）
--------------------------	--

【6 課税証明書等に記載の住所が県外の場合】

<input type="checkbox"/>	○住所の転入等により、課税証明書等に記載の いることがわかる書類（住民票等）	状況により、提出していただく書類を判断しますので、該当される場合はご相談ください
--------------------------	---	--

【7 誓約事項】

下記の事項について内容を確認の上、署名をしてください。

- 1 本申請にあたり、私は下記の事項について誓約します。
本申請書の記載内容は、事実と相違ありません。
- 2 本申請にあたり、私は下記の事項について承諾します。
交付要綱第8条の規定に該当する場合は、長野県の求めに従い、補助金の全部又は一部を返還すること。

申請者氏名（利用者） 長野 花子

申請者氏名（保護者等） 長野 一郎